

生野区将来ビジョン

2023-2026

基本理念「異和共生」

- ・異和共生とは、『異なったまま、和やかに、共に生きる』という意味で、お互いの壁を取り払うのではなく、あえて壁を残したまま、互いに壁のすきまから一步、あるいは半歩でも踏み出して、壁と壁の間で一緒にできる事を少しずつ増やしていこう、という考え方
- ・この考え方の前提となるのは、互いの壁を支える文化や歴史を尊重し大切にすること
- ・生野区は、この「異和共生」を基本理念として、まちづくり・区政運営を進めていく

異和共生 **なったまま**
やかに
に
きる
という考え方

まちづくりは家づくり



まちづくりをひとつの家づくりに例えたもの

- 基礎 …防災や防犯、福祉といったセーフティネット機能として、住民の生命身体にかかる重要でかつ安全・安心な生活を守るまちとして最低限必要な機能
- 1階 …地域経済の活性化などで、まちの資源（人・物・富）や担い手とそれらの循環を生み出すまちづくりのエンジンとなる部分
- 2・3階… 1階部分の地域経済の活性化などが進むことで、まちの資源・担い手が循環し、子育てや教育、地域福祉の分野など、まちの課題解決に向けた取組が拡充

それぞれのフロアの活動が活発化し、家全体・まち全体にわたって資源・担い手が好循環することで、さらに家全体・まち全体が堅固なつくりとなり、持続可能で発展していくまちへ

めざすまちの将来像

誰もが「居場所」と「持ち場」のあるまち

～「暮らしても遊んでも働いても面白い」異和共生のまちづくり～

安全・安心を身近に感じて暮らせるまち	にぎわいというとり豊かな魅力のあるまち	子育てにやさしく教育に つよいまち
しっかりしたセーフティネットのもと、ひとりも取りこぼされることなく、みんなが互いに思いやり支えあい助けあえるまち	まちがにぎわい、たくさんの方が訪れ、住んで、住み続けたいと思えるような、いろんな世代にとって住みやすく多彩な魅力のあるまち	安心して子育てができる環境のもと、未来あるこどもたちがいきいきと学び成長していくまち
主な施策 ・地域自主防災力の強化 ・空き家や老朽住宅等への対策 ・犯罪・事故の防止 ・身近な見守り・支えあい ・真に支援が必要な方や課題のあるすべての方への隙間のない支援 ・外国につながる住民が安心して暮らせる環境づくり	主な施策 ・万博を契機にしたまちの活性化 ・ものづくり生野のポテンシャル ・学校跡地を核としたまちの活性化 ・「空き家」「空きスペース」を活用したにぎわいの創出 ・持続可能な地域公共交通の推進 ・わがまち意識の浸透と生野の魅力発信	主な施策 ・ライフステージに応じた子育て支援の充実 ・安心して楽しく子育てできるまちづくり ・次世代の学校づくり ・まちの教育力を上げる

ニア・イズ・ベターの徹底

地域活動協議会による自律的な地域運営の促進

- ・地域の実情に即したきめ細かな支援
- ・地域活動協議会の意義・求められる機能の理解促進

区役所業務の更なる改善と市民の生活の質（QoL）の向上

- ・区役所業務の更なる改善の推進
- ・生活の質（Q o L）の向上とデジタル技術の活用